

沖縄本島北部の野猫における *Lynxacarus radovskyi* の 寄生調査

畑 大二郎[†] 山岸真貴 大城菅雄

沖縄県 開業（ヤンバル動物診療所：〒905-0019 名護市大北1-9-17）

（2022年8月18日受付・2022年11月18日受理・2023年4月12日公開）

要 約

沖縄本島北部の国頭村で捕獲した野猫127頭を用いて、*Lynxacarus radovskyi*（猫柔皮ダニ）の寄生状況を調査した。全身麻酔下の猫から、目視及び触診後にノミ取り櫛で体表をすいてサンプルを採取し、顕微鏡下で外部寄生虫の同定を行った。野猫の93.7%（119/127）（95%信頼区間（95% CI）：87.9～97.0%）で何らかの外部寄生虫を認めた。*L. radovskyi*の寄生率は12.6%（16/127）（95% CI：7.8～19.6%）で、ノミ93.7%（119/127）（95% CI：87.9～97.0%）に次いで高かった。本種が寄生した猫では皮膚病変をあまり認めなかったが、全てでノミの共寄生を認めた。性別や幼成別による寄生率に差を認めなかった。国頭村の複数地域の野猫で本ダニを検出し、四季を通してその存在を確認したことから、本調査地域は*L. radovskyi*の分布域に含まれることを証明した。本ダニは猫で病状を示すことがあるため、沖縄では他の外部寄生虫と共に注意が必要である。

——キーワード：猫, 日本, *Lynxacarus radovskyi*, 沖縄.



本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/76/4/76_e62/_article/-char/ja

-----日獣会誌 76, e62～e67 (2023)